

第 11 期 第 5 回 広 報 委 員 会 議 事 録

日 時 : 平 成 31 年 2 月 4 日 14:00 ~ 16:00

場 所 : 群 馬 県 庁 16 階 会 議 室

参 加 者 : 原 田、鈴 木、林、高 寺、萩 原、井 上、小 峯、酒 井 計 8 名

環 境 政 策 課 小 柏

議 事 :

1. GN(グリーンニュース)の基本構成
2. 第 77 号の内容について
3. 検討課題: マンネリ化を解消するための対策について

1. GN(グリーンニュース)の基本構成

井上委員長より、GNの基本構成について説明

(1) 誌面構成

A4 版 8 ページを原則とする。

1 p : タイトル、写真、目次

2 p : 県環境政策課事項

3 p : 代表責任(執筆依頼・回収)で寄稿

4-5 p : 専門部会事項

6-7 p : 各地域の活動紹介

8 p : 予備ページとして、コラム、豆知識、トピック、環境資料等の広
報・教育事項(広報ア・ラ・カルト)

(2) 季刊発行(3月、6月、9月、12月)を目指す。

(3) 原稿依頼、回収、ページ割付は広報部会が行う。

- ・原稿依頼は、発行月の1ヶ月前とし依頼書様式を別途定める。
- ・原稿回収(〆切)は発行月の10日前。
- ・編集会議は発行月の初日を目途に進める。

(4) ページ割付に従ってのレイアウト編集は環境サポートセンターが行う。

代表、広報部長がチェック後に環境政策課にて承認、印刷発行、配布。

ページレイアウト

	1 p	2 p	3 p	4 p	5 p	6 p	7 p	8 p
GN ○号	表紙 写真 目次	環 境 政 策 課	代 表 扱 い	専 門	専 門	地 域	地 域	広 報
				専 門	専 門	地 域	地 域	etc.

鈴木顧問＞次回幹事会に誌面構成等を提案し、協議・承認していただくようにす
たい。承認後に各ページの担当部署に原稿依頼を行い、各部署の責任で
原稿を毎号提出していただくようになるとうい。

2. 第 77 号の内容について

発行予定：3/20(水)

校正会議：3/4 14:00～

	上段	下段
1 p	【表紙・写真】 ・写真持寄る ・メールを活用して事前に収集する	【目次】
2 p	【環境政策課からのお知らせ】	
3 p	【代表扱い】 原田代表＞原稿は、代表・副代表で各号ごとに順番で執筆する。 ・前は宗副代表。今回は原田代表が依頼する。	
4 p	専門部会	専門部会
5 p	専門部会 ・井上委員長が各部会に執筆依頼を する。	林さんの「花いっぱい運動」につい て(苦労話を交えて)
6 p	地域	地域
7 p	地域 ・今年度「地域環境学習推進事業」 より 1)県央第一水道事務所見学 2)桐生市清掃センター見学とぐ んま昆虫の森で自然観察 3)尾根山森林公園での自然観察 ・井上委員長が各団体に執筆依頼を する。	・地域の方に井上委員長が依頼す る。
8 p	【エッセイ】 ・GN色を出す企画 ・オピニオン、四方山話、etc. 萩原さんが担当	【編集後記】 小峯さんが担当

3. 検討課題：マンネリ化を解消する対策について

酒井委員＞

環境政策課より「第2回ぐんま環境学校(エコカレッジ)修了者交流会」の参加申し込みが来ている。このようなイベントに広報委員会として参加して皆さんの意見を聞いたり、広報活動をしてみてはどうでしょうか？

環境政策課＞

現在参加予定者は5名程度。

小峯委員＞

イベント予定を掲載してはいかがでしょうか？

2/23 高崎ボランティアフェスティバル

2/14,20 サポーター会議

3/2 サケの放流会(和田橋)

地域環境学習の開催日 など...

萩原委員＞

年間を通して1つのテーマを帯として扱ってはどうか？

井上委員長＞

他団体(緑のインタープリター等)との交流をしてみてもどうか？

萩原委員＞

個人の活動に光を当てる。⇒横のつながりの大切さ

大学企画のイベントで、環境アドバイザーのコーナーを併設してポスターセッションなどで交流の場をつくる。

小峯委員＞

県自然史博物館でも同様な企画を見たことがあり、好感が持てました。

鈴木顧問＞

環境アドバイザー連絡協議会の設立の主旨は「横のつながり」であり、以前は見学会等で交流の場を提供したこともあります。